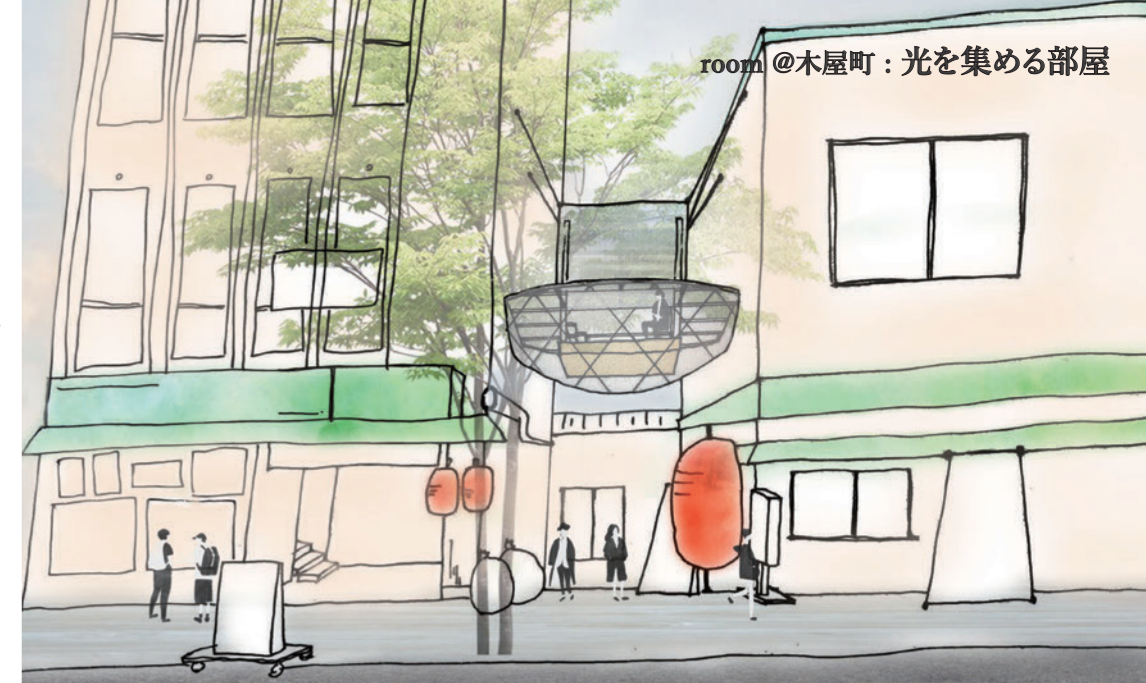
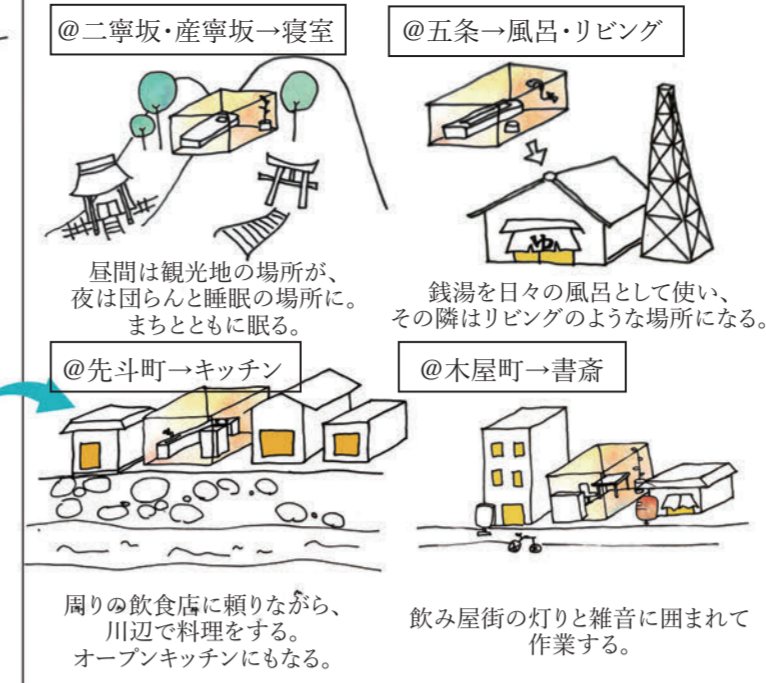
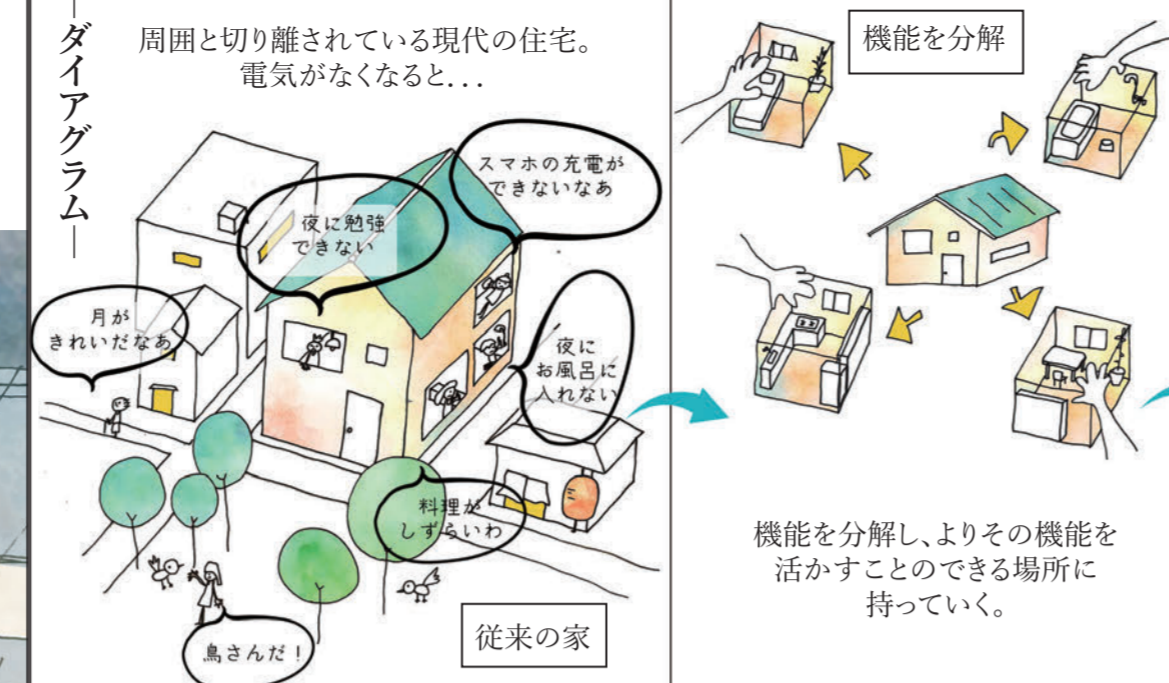
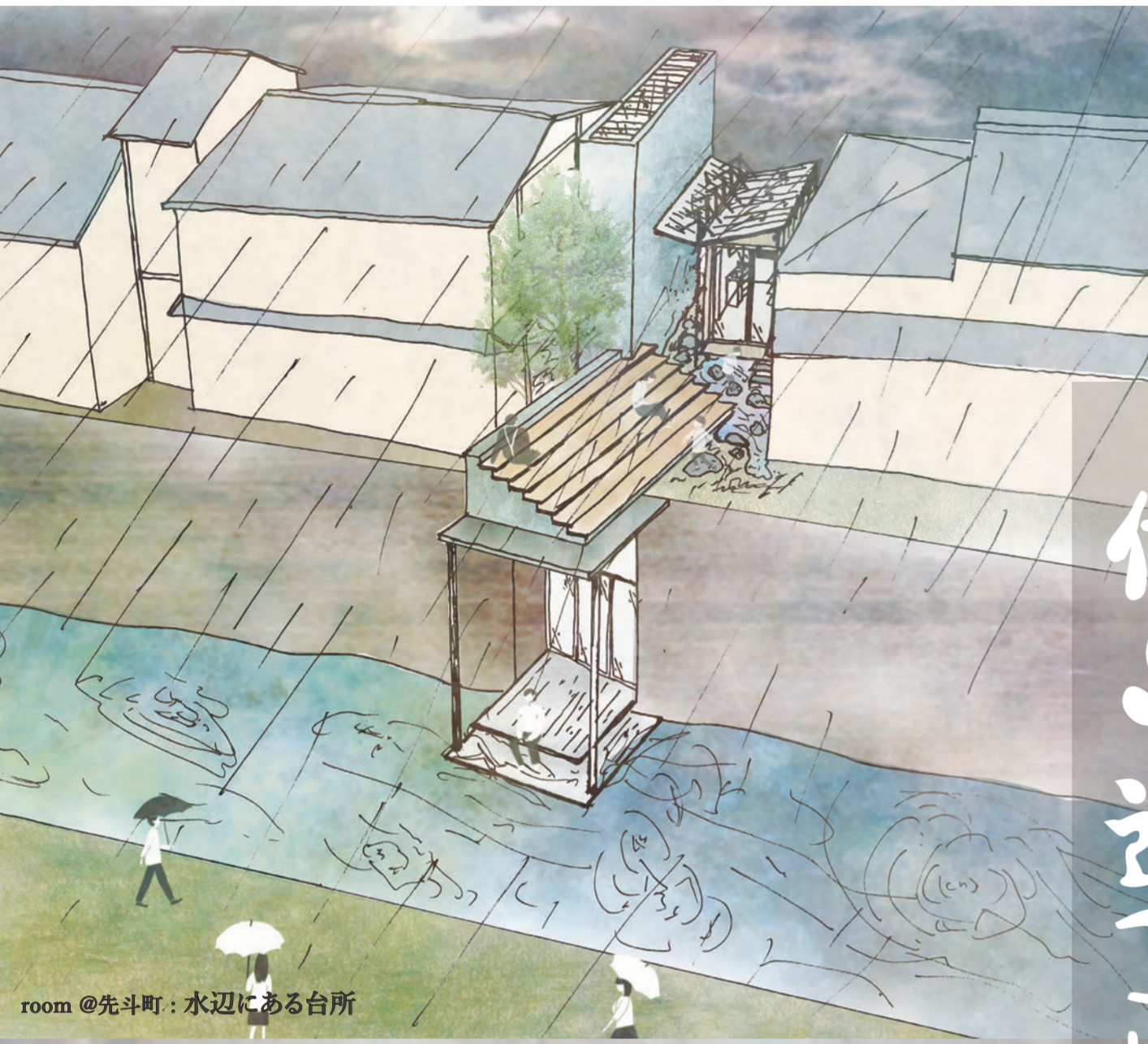


「電気のない暮らし」とは、「所有」と「制御」のない暮らし。今私たちは、土地・空間を所有し、その環境のほとんどを電気を用いて制御することで、自然や周囲から切り離された場で暮らす。

一方で、外で夜風にあたり、にぎやかな場に身を置く時間も私たちの生活の一部を形成している。本来暮らしとは、周囲と自己との間の反応で成立するものである。「電気を使わない家」を契機として、まわりのものと共鳴し合う暮らし方を考えたい。



# 借り過ぎの住まい

